

天童市議会だより

2013
11.1
No.142
TENDO



9月定例会

- 2 新体制でスタート
- 4 一般質問 12人
- 9 議会改革 8
- 10 決算特別委員会
- 12 予算特別委員会 9月補正予算
- 13 討論 3件
- 14 提出された議案とその結果
- 15 議会のうごき
- 16 市民の声、12月定例会の日程 (予定)

▲山口小5年生が体験した稲刈り。二子沢の田んぼを借りての恒例の活動。田んぼの先生の指導を受けながら、春に田植えして実った稲を大切に収穫。「米一粒一粒を大切に」食育の貴重な学びの場でもあります。



インターネットで
議会中継

天童市議会 で 検索

<http://www.city.tendo.yamagata.jp>

新体制で スタート

議長 小松善雄
副議長 結城義巳 を選出



▲正副議長選挙の開票作業

9月25日の本会議において、正副議長の辞任に伴う正副議長選挙が行われ、投票によって新しい議長、副議長が選ばれました。
また、9月30日の本会議において、議会選出監査委員、各常任委員会委員及び議会運営委員会委員等の選任を行い、新しい議会の構成が決定しました。

■議長選挙の結果

小松善雄 19票
伊藤和子 2票
結城義巳 1票

■副議長選挙の結果

結城義巳 11票
山崎 諭 9票
石垣昭一 2票

就任のあいさつ



副議長
結城 義巳

従来の慣習にとらわれることなく、より市民のための議会になるよう、頑張っていきます。



議長
小松 善雄

議会の役割を踏まえた議会運営に努め、議員間の討議を行い議会の活性化を図ります。

会派の構成

会派名	議員氏名	役職	会派名	議員氏名	役職
清新会	伊藤 護國	会長	政和会	後藤 和信	会長
	村山 俊雄	幹事長		松田 光也	幹事長・会計
	水戸 保	副会長		木村 竹虎	副会長
	鈴木 照一	副会長		浅井 健一	
	山口 桂子	会計		結城 義巳	
	山崎 諭		市民クラブ	赤塚幸一郎	代表
	矢萩 武昭			狩野 佳和	副代表
	遠藤 敬知			海鋒 孝志	会計
	水戸 芳美			伊藤 和子	代表
	武田 正二			石垣 昭一	会計
			天童市共産党		

※会派に属さない議員：小松善雄（議長）、茂木孝雄
※議長は、申し合わせにより、任期中に限り会派から離脱しています。

議会選出の委員・組合委員

天童市監査委員	後藤 和信
天童市農業委員会委員	遠藤 敬知
東根市外二市一町 共立衛生処理組合議員	松田 光也、水戸 芳美 武田 正二
天童市都市計画 審議会委員	浅井 健一、伊藤 護國 鈴木 照一、石垣 昭一 狩野 佳和、村山 俊雄
乱川河川改修促進 期成同盟会委員	小松 善雄、伊藤 護國 海鋒 孝志、松田 光也 村山 俊雄、水戸 芳美
天童東根村山線整備 促進期成同盟会委員	小松 善雄、赤塚幸一郎 伊藤 護國、海鋒 孝志 村山 俊雄、水戸 芳美
田井橋再架促進 期成同盟会委員	小松 善雄、赤塚幸一郎 山崎 諭、松田 光也

委員会の構成

◎印…委員長 ○印…副委員長

環境福祉常任委員会

健康福祉部、市民部及び天童市民病院の所管に属する事務の審査と調査



武田正二 水戸 保 狩野佳和
浅井健一 ◎村山俊雄 ○木村竹虎 伊藤和子

総務教育常任委員会

総務部、消防本部、教育委員会及び選挙管理委員会などの所管に属する事務の審査と調査



矢萩武昭 山口桂子 水戸芳美
結城義巳 ◎山崎 諭 ○海鋒孝志 石垣昭一

議会運営委員会

議事日程などの議会運営及び議会関係条例の制定改正などに関する事項の調査と協議



狩野佳和 松田光也 遠藤敬知
石垣昭一 ◎鈴木照一 ○村山俊雄 後藤和信

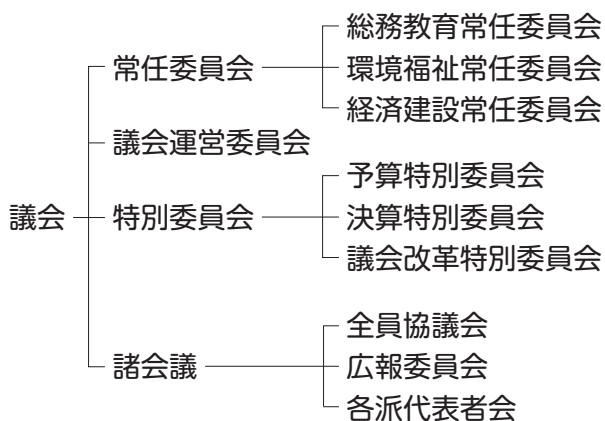
経済建設常任委員会

経済部、建設部、上下水道事業所及び農業委員会の所管に属する事務の審査と調査



松田光也 後藤和信 茂木孝雄
伊藤護國 ◎赤塚幸一郎 ○遠藤敬知 鈴木照一

議会の構成



- ・ 予算特別委員会は議長を除く全議員
- ・ 決算特別委員会は議長と監査委員を除く全議員

議会改革特別委員会

議会改革に関する事項の調査と協議を行うために、平成24年3月に設置



松田光也 赤塚幸一郎 結城義巳 海鋒孝志 武田正二
伊藤護國 ○鈴木照一 ◎村山俊雄 伊藤和子 山崎 諭

市政に対する一般質問



市政に対する一般質問は、9月3日、4日の2日間の日程で、12人の議員が行いました。

7月の豪雨による災害の対応をはじめ、消防団組織の見直しや西部地域の人口増加策について、市長や教育長等の見解を求めました。

豪雨災害

豪雨災害対応と対策



松田光也議員

7月18日か

らの記録的豪雨により河川

の洪水危機、長期断水が起

こった。災害の危険箇所の総

点検と避難体制はどうであつ

たか。また西部地域において、

樽川や倉津川高野辺水門に排

水ポンプ、監視カメラを常設

し、河川の洪水防止をすべき

と考えるがどうか。

山本市長 河川の危険箇所に

ついては、毎年、河川管理者

と市が合同で巡視を行い、重

要水防箇所の必要な見直しを

随時行い、水防計画に反映さ

せている。7月18日の豪雨で

増水した樽川の漏水箇所の復

旧は、県が年度内に工事を完

成させる予定である。

また、土砂災害危険箇所に

ついては、毎年、県、消防本

部、地元自治会など、防災関

係者と合同で現地調査を行

い、総点検を行っている。7

月27日の集中豪雨で土砂崩れ

を起こした市民墓地付近の市

道若松山口線の復旧工事は、

11月末までに完成する予定で

ある。

避難体制については、県や

気象台から発表される情報を

参考にしながら、避難情報を

市民に伝え、小中学校や市立

公民館、スポーツセンターな

どの施設に避難をお願いする

ことになっている。

樽川樋門については、国に

対し、排水機場の設置と緊急

時における排水ポンプ車の優

先配置を要望している。また、

樽川樋門には、監視カメラが

設置されており、常時、状況

確認できるようにしている

ので、国と連携を取りながら、

水防業務に努めていきたい。

周辺が水田になっている高

野辺水門については、水門管

理を行っている天童土地改良

区との連携を密にし、排水機

材等の整備充実に努めたい。

質問者と質問事項 (☆印は会派名)

★自公・政和会

松田光也議員

* 豪雨災害対応と今後の対

策について

* 断水に関する対応につ

いて

* 安定的な水道水の確保に

ついて

* 結城義巳議員

* 高齢者にやさしい政治に

ついて

* 理科教育の充実について

後藤和信議員

* 断水及び大雨対策につ

いて

* 健康マイレージ事業につ

いて

★市民クラブ

茂木孝雄議員

* 7月の断水について

* ふるさと納税制度につ

いて

* 天童市民病院の今後の方

向性について

赤塚幸一郎議員

* 消防団の現状と課題につ

いて

* 市が発注している公共事

業の執行について

★日本共産党天童市議団

石垣昭一議員

* 公契約条例を制定するこ

とについて

* 西部地域の現状と将来に

ついて

伊藤和子議員

* 子どもの心を育てる読書

力向上のために

★清新会

武田正二議員

* 災害に強いまちづくりを

水戸芳美議員

* 独自の教育について

遠藤敬知議員

* 水道事業のあり方について

矢萩武昭議員

* 市長及び行政委員会等が

委嘱する非常勤職員につ

いて

* 図書館と美術館を通路で

結び、両施設の活性化を

山崎諭議員

* 雨水排水対策について

断水時の給水体制の見直しを



武田正一議員

水源を村山広域水道だけに頼っている

現在、今回の断水時の給水体制には問題があった。災害時における応急給水計画（天童市地域防災計画）には、都合な点が多く、また高齢者や障がい者等の弱者（給水所へ

来れない人）への対応も考えて見直しをすべきと思うがどうか。

山本市長 天童市地域防災計画に記載している応急給水計画は、大地震の際の応急給水計画について記載したものである。今後、今回のような断水時にも円滑な給水活動が行えるよう、臨時給水所、給水



▲ひかり交流広場での給水活動

方法等を盛り込んだ応急給水マニュアルを作成したい。

マニユアルの作成に当たっては、高齢者や障がい者などの対応について、自主防災会や民生委員と相談し、きめ細かな対応に配慮しながらまとめていきたい。

再発防止は天災・人災の検証から



茂木孝雄議員

断水元の村山広域水道の過失や判断ミ

スの有無を第三者機関に検証を要請すべきだ。天童市の損害の応分の負担もありうる。

天童市自体も村山広域水道への全量依存の妥当性や、市内各層の損害補償要否を第三者機関で検証すべきだ。基本料金のみ減額は不合理。少なくとも「使えなかった水量」を減額すべきではないか。



▲村山広域水道西川浄水場の取水口

水道事業のあり方



遠藤敬知議員

水道水の確保は、人命に直結するライ

フラインであり、最優先で取り組むべき課題だ。村山広域水道への100%依存は他力依存であり、災害時のリスク軽減のためには、高掬水源地等の独自水源を活用すべきだ。

また、地下水源は市民の共有財産であり、活用と保全の整合性を図るため、条例を制定すべきと考えるがどうか。

山本市長 昭和40年代後半から水需要が年々増加したため、安定した水道水源の確保が課題であった。しかし、本市単独で新規水源を開発することは困難であった。その後、村

山広域水道の受水が、昭和59年7月から始まった。本市唯一の自己水源となっている高掬水源地は、水質改善等の工事が必要な状況である。地下水の利用については、農業用水や事業用水など、多岐にわたるが、天童地区地下水利用対策協議会に加盟する39事業所全体で、1日当たり約1万2000トンを利用している。今後も、対策協議会等と協力し、地下水の適正利用の啓発を行い、その保全に努めていきたい。

また、地下水源は市民の共有財産であり、活用と保全の整合性を図るため、条例を制定すべきと考えるがどうか。

山本市長 7月18日からの記録的豪雨により、村山広域水道西川浄水場の原水濁度が、約3000度まで異常上昇し、水処理ができなくなったため、給水が停止された。翌19日には、24時間分の水量を持つ八幡山配水池も底をつき、断水または出水不良が始まった。今回の断水のような自然災害を原因とする断水に係る被害額を把握することは大変困

難であるが、今後、被害額算定に関する資料を参考に研究しながら、推定の被害額を試算してみたい。

また、断水に伴う補償については、災害や水道施設の損傷などによる給水停止、給水制限によって生じた損失は補償しないと定めているので、ご理解をお願いしたい。

基本料金の減額は、関係規定に基づき行うものである。水道水を使用できなかった分は、基本料金が発生しないため、料金の支払い義務も消滅することによるものである。

雨水排水

市街地の雨水排水対策



山崎諭議員

天童市の市街地の雨水排水の大部分

が、倉津川へ集中している。近年、ゲリラ豪雨が頻発して、下流部では大水に悩まされている頻度が増えた。雨水が一気に流れないよう調整池を増やしたり、新築等の住宅へ浸

透枒を義務付けたりするなどの対策が必要と思うがどう考えているのか。

山本市長 去る7月27日に局

所的な集中豪雨が発生し、市街地の一部では道路の冠水や雨水幹線があふれる箇所が見受けられ、下流域においては、急激な河川の水位上昇で内水の排水不良が起きるなど、大

雨に伴う浸水被害の発生が懸念される状況である。

市街地からの排水を抑制する施設の一つとして、浸透枒などの雨水浸透施設がある。

雨水浸透施設の設置については、設置の有効性を確認しながら検討していきたい。

市街地の調整池の整備については、設置場所や構造形式の選定などについての検討が必要であり、また、工事費も多額になることから、費用対効果を総合的に調査研究していきたい。

介護保険

高齢者に優しい政治を



結城義巳議員

介護保険料は75歳になったら、市民の

負担をなくすべきである。その不足財源は、高額所得者にもっと負担を求めるべき。40歳から64歳までの介護保険料は国の施策なので国へ改正の要望をしてほしい。65歳

以上は、市の介護保険運営の問題なので、所得に応じた負担を求めるべきでないか。

山本市長 介護保険制度の保

険者である市町村は、65歳以上の第1号被保険者から介護保険料を徴収することとなり、本市では、保険料区分を実質9段階とし、負担能力に応じた保険料となるよう

見直したところである。75歳以上の方の保険料負担の免除については、制度上難しいと考えられるが、国においては、制度の持続性や公平性の観点から、一定以上の所得のある利用者の負担について議論されているので、今後の動向に注視したい。

介護保険サービスの利用増大に伴い、介護費用が急激に増大する中、介護保険の給付と負担について、保険料の問題も含め、長期的な視点で考える必要があると考えている。

健康

健康マイレージ事業の導入を



後藤和信議員

いつも元気で暮らすには、常日ごろ

から健康寿命を延ばす運動習慣が大切である。生活習慣病の予防にもなり、医療費の削減、介護保険の抑制効果などが期待され、ポイントによる地域経済の活性化が期待される。今後、健康ウォーキングの活性化につながる制度である。健康マイレージ事業を導入する考えは。

山本市長 市民の健康づくりを推進するため、第二次健康てんどう21行動計画を、平成25年3月に策定している。この計画は、健康寿命の延伸を目的として、高齢者の身体機

能の維持等の施策を掲げている。これらの施策を推進するためには、市民一人ひとりが健康づくりに自主的に取り組める環境づくりと、健康な生活習慣の定着が重要である。

健康マイレージ事業は、日々の健康づくりの実践状況や健診の受診状況等をポイント化し、ためたポイントを公共施設の利用券や商品券等と交換することができるようにし、健診の受診等の向上や健康意識の向上等を図ろうとするものである。メリットのある健康マイレージ事業は、市民の健康づくりの意識を高める先進的な施策であり、健康寿命の延伸等につなげようとする取組みなので、今後、本市独自の実施方法について調査研究していきたい。

注「健康マイレージ」は健康づくりを促進する新しい仕組み。日々の運動や健康診断の受診など、実践した健康づくりメニューをポイント化することにより、公共施設利用券や民間の登録サービス券と交換する特典を受けられる制度です。



▲豊かな人生と健康長寿を囲ります

ブックスタート導入で 新生児に絵本の楽しさを



伊藤和子議員

全国856市町村でブックスタートを

実施して、効果や実績が高く評価されている。天童市では、乳幼児健診の時に、読み聞かせボランティアなどの協力ですぐに読み聞かせを実施している。

ブックスタートを導入する環境は整ってきていると思うが、導入する考えはないか。

市町村でブックスタートを

山本市長 本市では、絵本をとおした親子のふれあいを深めるため、読み聞かせボランティアの協力を得て、乳児に対する絵本の読み聞かせと絵本の紹介を、9か月児健康相談の中に取り入れている。

今後、乳幼児健診時に、本をとおした親子のふれあいや、読み聞かせの大切さなどをまとめたパンフレットを配布して、成長に合わせた絵本を紹介し、本に親しめるきっかけづくりに取り組みたいです。

平成27年度開設予定の子育て支援施設にも、絵本コーナーを設け、本と親しむ環境づくりを進めたい。

注 「ブックスタート」は乳幼児健診時に絵本をプレゼントして、赤ちゃんと保護者に絵本を楽しみきっかけをつくる活動。

消防団の縮小再編と 消防署の充実を



赤塚幸一郎議員

少子化傾向による若年人口の減少等から、消防団員の確保が課題となっている。定員の見直しを行い、真に活動ができる人員に縮小再編が必要ではないか。

同時に、消防署の機能充実を図ることも必要だ。消火・救急において、いかに短時間で現場にという意味で、市西部地域に分署を置く考えはないか。

充足率は98・7割である。本市に限らず、全国的に若年団員の確保が困難なため、国では、団員の減少を食い止めるため、企業等に対して社員が消防団に加入しやすい環境をつくるような努力義務を課すなどの法案を臨時国会に提出しようとしている。本市においても、地域住民の理解と協力を得ながら、地域防災の要になる消防団員を確保する活動を継続していきたい。

消防団の再編については、平成24年3月に団員の定数を変更することなく、市立公民館単位に設置する消防団再編計画を策定したところである。

この再編計画は、13分団54部69班集体とすることを柱としている。現在、この再編計画に基づき、部・班の統廃合や女性消防団員の登用、消防車両の更新等を行っており、今後も同計画の推進を図ってきたい。

西部地域の人口増加策を



石垣昭一議員

今、少子化

等により、小学校の複式学

級が避けられない状況が目前に迫っている。子どもたちの数が減ることは、地域コミュニティの衰退につながる。西部地域の人口増加策として、住宅団地造成など、早期に積

極的な施策が必要と思うがどうか。

山本市長 人口減少に伴い、子どもたちが減少し、複式学級化が危惧される状況は、西部地域に限った課題ではなく、市全体の田園集落における課題であると認識している。田園集落の定住人口を確保するためには、本市の魅力

をアピールすることが必要である。本市では、中学生までの医療費無料化をはじめとする子育て支援の施策のほか、荒谷西工業団地の分譲や、天童インターチェンジ周辺の工業団地の整備を進めている。西部地域においては、緑豊かな生活環境への定住を志向するニーズに対応するため、優良田園住宅認定制度の普及促進に努め、住宅地の開発計画については、地区計画制度の活用をPRしたい。



▲日ごろから訓練する消防団

将棋いろはカルタで 教育と観光PR



水戸芳美議員

水戸の由来など分からな
い人が多い。

ゲームや遊び感覚で勉強すると、大人になっても記憶に留めておける。天童と言ったら将棋なので、歴史・文化・観光などを盛り込んだ「将棋いろはカルタ」を制作し、教材

として活用してはどうか。また、歴史から観光まで網羅すれば観光にも活かせると思う。

水戸部教育長 小学3年生の

社会科では、副読本「わたしたちの天童市」で、本市の歴史、文化、人物、産業などを学習している。単元の最後には、子どもたちが学んだことをカルタや双六すごろくに表現すること

意見書の提出

9月20日に議会運営委員会、総務教育常任委員会及び経済建設常任委員会から提出された意見書提出議案が、全会一致で可決され、意見書は関係機関に送付されました。

▼山形県村山広域水道の安定給水を求める意見書（要約）
7月の大雨による河川汚濁に伴い、村山広域水道からの給水が停止又は制限されたことにより、天童市では最長8日間の断水となり、市民生活及び企業活動等に深刻な影響を及ぼした。

▼地方財政の充実確保を求め
る意見書（要約）
地方財政は、社会保障関係費などの財政需要の増加や地方税の低迷により、厳しい状況が続いている。

こうした中、基礎自治体である市が、住民サービスやまちづくりを安定的に行うためには、地方税財政の充実確保は不可欠である。地方交付税の増額による一般財源総額の確保などについて要望する。
提出先：内閣総理大臣、財務大臣ほか

▼ホテル・旅館等建築物の耐震化の促進に関する意見書（要約）
法律の成立により、不特定多数の者が利用するホテル・旅館等で一定規模以上の大規模な建築物については、耐震診断の実施と、その結果の公表が義務付けされた。

耐震化を円滑に推進するに当たって、温泉所在都市に対し必要な財政支援の充実を強く要望する。
提出先：国土交通大臣、観光庁長官ほか

この意見書は、10月11日に、正副議長が直接、細谷知行副知事に提出しました。

図書館と美術館を 通路で結んでは



矢萩武昭議員

本市には、他市に誇るべき図書館と美術館が並んで整備されている。

図書館利用者は極めて多いが、美術館については、残念ながら限られた実態にある。市民が幅広く「芸術文化」に親しむことができるように、図書

館と美術館を屋内通路で結ぶような方策を提案したい。

山本市長 市立図書館の年間入館者数は14万人台。市美術館の年間入館者は2万人前後で推移している。

ご提案の図書館と美術館の一体化については、建築構造上の違いによる消防法上の設備の整備が必要になることや、

とで、地域の良さをまとめたり、学習を振り返ったりする機会を設けている。また、各学年の総合的な学習の時間では、地域を愛する心を育てることを大事にしている。
今年度は、小学校全学年で地域学習バスの活用による体験学習を実施している。
地域を題材にした学習は心に残り、生涯にわたり知識として身に付くものと考えている。今後もこのような学習を本市の特色ある学習として位置づけ、推進していきたい。

無料施設と有料施設を一体化することによる施設管理面の問題もある。したがって、両施設の通路を結ぶことは現状では難しいと考えている。図書館と美術館周辺の景観形成や、レイアウトについては、今後の検討課題の一つと考えている。
当面は、市立図書館と市美術館の指定管理者が同一であるメリットを活かし、入館者の拡大と活性化に努めたい。

天童市議会基本条例案についての意見をお聞きします。

■議会報告・意見交換会

議会改革特別委員会において、今年4月に引き続き3回目の「議会報告・意見交換会」を別表1のとおり各市立公民館で行うことが決まりました。

今回の「議会報告・意見交

■議会基本条例

議会改革特別委員会では、天童市議会基本条例の制定を

「議会報告・意見交換会」では、4月から10月までの市議会定例会及び臨時会での審議内容、議会改革特別委員会の中間報告などについて報告します。

「議会報告・意見交換会」では、条例案について説明し、皆さまからの意見を伺いたいと思います。

■中間報告

議会改革特別委員会の中間報告がなされてから約1年間の経過しており、その後の20回にわたる議会改革特別委員会で決定された事項については9月20日の本会議で中間報告が行われました。中間報告の概要は別表2のとおりです。なお、中間報告書は、市議会のホームページに掲載してありますのでご覧ください。議会改革特別委員会では引

■特別委員会の予定

議会改革特別委員会の開催予定日と協議事項については別表3のとおりです。一般傍聴席は20席です。傍聴希望の方は開会10分前までに所定の受け付けをしてから入室してください。また、休憩時を除き入室はできませんのでご注意ください。

引き続き、市民に開かれた議会を目指して、検討を進めていきます。

●とき、ところ（会場は各市立公民館）（別表1）

11月18日(月)	天童中部	荒谷		天童北部
11月19日(火)			長岡	
11月20日(水)	寺津	津山	干布	
11月25日(月)		天童南部	高揃	成生
11月26日(火)	山口 山田 麦野			蔵増
参加議員	水戸 芳美 村山 俊雄 松田 光也 矢萩 武昭 鈴木 照一 浅井 健一	遠藤 敬知 狩野 佳和 結城 義巳 山崎 諭 伊藤 護國	茂木 孝雄 山口 桂子 海鋒 孝志 木村 竹虎 伊藤 和子	武田 正二 赤塚幸一郎 後藤 和信 石垣 昭一 水戸 保

(※田麦野地区は、山口地区と合同で市立山口公民館で行います。)

- 時間 午後7:00～8:30（予定）
- 内容 ・報告事項＝4月から10月までの定例会及び臨時会の審議内容
・意見交換のテーマ＝議会基本条例について（議会基本条例案は、事前に各市立公民館に送付します。）

検討の結果（特別委員会における決定事項）（別表2）

検討項目	検討結果
会派について	・2人以上の議員によって会派を構成できるようにするものとする。 ・各派代表者会の構成を会派所属議員2人当たり1人とするものとする。 ・各委員会の正副委員長は各委員会で互選するものとする。
政務調査（活動）費について	・地方自治法の改正に伴い名称を政務活動費に変更するものとする。 ・会派による陳情・要請活動も交付対象とするものとする。 ・額や用途基準等については変更なし。
議員定数について	・変更なし。
議員報酬について	・議員報酬月額については変更なし。（平成25年7月から平成26年3月までの間、議長10歳、副議長8歳、議員6歳削減し、計約500万円の削減。） ・期末手当は、平成26年4月から平成27年9月までの間、期末手当の加算割合を40歳から20歳に削減するものとし、議員全体で年間約500万円の削減を行うものとする。

開催予定日と検討項目（別表3）

開催予定日	検討する項目
11月12日(火)	* 議会基本条例について
11月26日(火)	* 災害時の議会のあり方について
12月9日(月)	* 議会報告・意見交換会で出された意見・要望等の対応について
12月24日(火)	
1月14日(火)	* 議会基本条例について（パブリックコメントの対応）
1月28日(火)	

※開催予定日及び検討する項目は予定です。協議状況によっては変更になることがあります。
※午前10時開会です。
※詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

決算特別委員会

一般会計を含む12件を認定

平成24年度一般会計決算をはじめ、8件の特別会計決算のほか、水道事業会計、市民病院事業会計、下水道事業会計の計12件が提出され、決算特別委員会に付託されました。審査の主なものは次のとおりです。



小中学校の 学力向上対策は十分か

委員 教育指導事業について、学力診断正答率が、平成24年度は前年度より低下しているがどう捉えているのか。

学校教育課長 学力診断正答率は、平成23年度と比較すれば若干下がっているが、問題の内容が違うので、単純に前年度と比較し、学力が低下したと捉えていない。全国平均よりも高い正答率であるので、特に問題はないと考えている。

行財政改革推進の 成果は

委員 当初予算で6500万円の委託料を計上したが、決算では大幅削減となった。その経過と成果について伺いたい。

市長公室長 主要な行政課題13項目について、市職員で対応できるものは職員が行い、結果的に4項目のみの委託となった。このため行財政改革推進に係る費用を大幅に削減できた。また、行財政改革の推進により、13項目について、

解決もしくは方向性を明らかにすることができ、事業を推進することができた。

自主防災会の 活動状況は

委員 自主防災会の組織率が100割となっているが、その活動状況はどうなっているのか。

危機管理室長 市内には99の自主防災会が組織されている。各自自主防災会で防災訓練等に取り組んでいるが、昨年度訓練を実施していない自主防災会が15組織あった。

しかし、自主防災会の活動に参加する人数は増加し、防災・減災に対する関心が高まっている。現在、防災力の強化のため、市立公民館ごと



▲10月6日、荒谷地区での市総合防災訓練

に、地区自主防災会連絡協議会の設立を進めており、既に11地区で組織化されている。

デマンド型乗合タクシー 運行状況は

委員 昨年度と比較すると、利用者が1000人減少しているようだが、どう捉えているのか。

生活環境課長 平成23年度と比較すると、区域乗合型は1195人減少している。路線型は、減少しているところもあるが、増加している路線もあり、デマンド型乗合タクシー事業全体で960人ほど減少している状況である。

区域乗合型の利用が減少した理由は、スポーツ少年団の利用が、年間で1000人ほど少なくなったためと考えている。よって、区域乗合型を実施している山口、田麦野地区の方には十分認知され利用されている状況にある。

市民墓地整備と 貸出状況は

委員 市民墓地の整備状況と貸出状況は。



▲700区画整備した市民墓地

生活環境課長 平成24年に92区画を造成し、当初予定していた700区画が完成していた。平成25年3月末で641件の申し込みがあり、59区画が残っていた。平成25年8月末の時点では39区画が残っている状況である。

任意予防接種の 接種状況は

委員 ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、子宮頸がん予防ワクチンの接種状況は。

子育て支援課長 ヒブワクチンの接種率は99・2割、小児用肺炎球菌ワクチンの接種率は99・6割、子宮頸がん予防ワクチンの接種率は80・6割となっている。

天童古城地区のまちづくり

委員 第一期工事は、平成20年度からの事業であるが、5年間の総事業費はいくらか。



▲親水空間として整備された愛宕沼

都市計画課長 第一期工事の総事業費は、9億2000万円である。舞鶴山一帯の整備のほか、一日町地内の都市計画道山形老野森線の高質空間整備を行い、第一期工事の終了は、平成25年3月である。



▲郡役所資料館への連携道路整備

ごみの排出量増加の状況と理由は

委員 ごみの減量化やリサイクル化を推進しているが、ごみは増加している。その原因は何か。

生活環境課長 平成24年度のごみの排出量は、1人当たり

1日791gで、平成23年度と比較すると31g増加した。

この原因の一つは、食品廃棄物を循環資源として家畜の飼料にするリサイクルプラン事業が、12月末で中止した影響によるもので、事業系一般廃棄物のごみの量の増大につながっていると考えられる。

芳賀地内の雨水排水整備計画を

委員 芳賀地内に住んで生活している人がいる。雨水排水を抑制する調整池を早急に整備すべきでないか。今後の整備計画はどうなっているのか。

都市計画課長 今年度、芳賀地内における調整池の用地買収を見込んでいます。順調に進めば、来年度中に完成する計画である。

農作物の鳥獣被害防止を

委員 クマ、サル、イノシシ等による鳥獣から農作物の被害を防止する取組内容は。

農林課長 サルの生息数は市内全域で240頭と把握している。平成24年度のサルの捕獲数は28頭である。また、イノシシの捕獲数は3頭、クマの捕獲数は3頭となっている。ハクビシンの被害については、平成24年度は山口地区を中心に果樹の被害が154万3000円出ている状況である。今後も防止策に取り組んでいきたい。

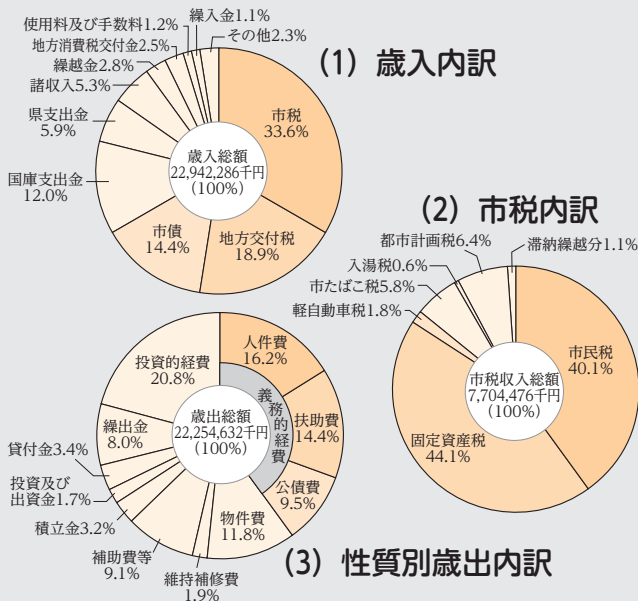
平成24年度 各会計の決算額

(単位：千円)

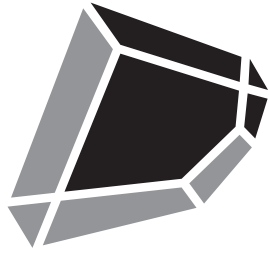
会計名	歳入	歳出
一般会計	22,914,043	22,252,030
国民健康保険	6,955,992	6,716,394
用地買収	3,160	23
特別会計	1,946	1,231
財産区	230,939	211,953
介護保険	4,254,072	4,162,376
市民墓地	5,252	1,733
後期高齢者医療	570,023	554,446
工業団地整備事業	659,329	656,990
計	12,680,713	12,305,146
合計	35,594,756	34,557,176

水道事業会計	当年度純利益	101,289千円
市民病院事業会計	当年度純損失	143,482千円
公共下水道事業会計	当年度純利益	80,585千円

普通会計歳入歳出決算



※普通会計は、総務省で定める基準により作成される会計で、一般会計のほか、用地買収、鉾ノ町、市民墓地の各特別会計を合算したものの。



TENDO

▲将棋駒をイメージしたロゴマーク

予算特別委員会

平成25年度一般会計補正予算

4億3109万2000円を
増額補正

一般会計4億3109万2000円を追加する補正予算をはじめ、国民健康保険特別会計5億4232万1000円のほか、7会計の補正予算は、予算特別委員会に付託され、審査された後、本会議において、原案のとおり可決されました。審査の主なものは次のとおりです。

市のロゴマークを 商標登録

委員 このたび市が制作したロゴマークを商標登録する委託料40万7000円の内容は、

市長公室長 ロゴマークについて、商標権侵害を未然に防ぐため、立体の商標のデータの作成及び出願手続きに要する経費。申請に1カ月。登録決定に3、6カ月を要する予定。

放射性物質 検査機器の設置

委員 検査機器設置業務委託料36万8000円の内容は、

危機管理室長 独立行政法人国民生活センターが、本市に

対し放射性物質検査機器（500万円程度）を無償貸与するもので、機器の運搬費用と設置費用を市が負担して設置する。ヨウ素、セシウム13

4・137などの放射性物質の簡易検査ができ、検査してもらいたい食品（自家消費農作物分のみ）を持ち込むと、20分程度で測定できる機器である。

子育て支援施設 整備事業の増額理由は

委員 当事業費の債務負担行為で、支出の限度額が1億5164万1000円増額する理由は、

子育て支援課長 県の土木関係設計単価の増額を踏まえたものである。震災の復興需要に伴う労務単価や資材等の価格高騰に対応するためであり、消費税の8割への増税分も含まれている。

市立保育園を増設 低年齢児受入れ拡大

委員 保育園施設整備工事費756万円の工事内容は、

子育て支援課長 市立さくら保育園の1歳児の保育室を増床する工事である。これにより1歳児を8人程度増員できる見込みである。

放課後児童クラブ 職員の処遇改善

委員 放課後子どもプラン推進事業費補助金723万8000円の内容は、

子育て支援課長 要件を満たす指導員の処遇改善を図るための補助金である。4月1日にさかのぼり、1人月1万5000円の支給を県が負担して行うもの。対象は42人を見込んでいる。

農産物の

安定供給体制の確保

委員 強い農業づくり交付金2860万円の内容は、

農林課長 カントリーエレベーターの糶摺機、色彩選別機及び計量機の更新に係る事業で、総事業費5720万円の2分の1が助成額となる。

原崎橋の改良工事

委員 橋梁新設改良工事費900万円の内容は、

建設課長 原崎橋に最新式のLED道路照明灯2基のほか、橋梁用防護柵延長95メートル等を設置する工事内容である。

一般会計補正予算 (第2号)あらかし

補正額 4億3109万2000円
予算総額 213億9553万2000円

◆主な内容 (単位：千円)

市民保養施設指定管理委託料	2,040
第3子以降保育料無料化事業費補助金	13,093
市立保育園施設整備工事費	7,560
保育士等処遇改善臨時特例事業費補助金	6,955
地産地消の推進に要する賄材料費	337
観光関連施設整備工事費	1,550
天童高原施設の管理運営に要する工事関連委託料	2,100
住宅リフォーム総合支援事業費補助金	11,000
公園施設整備工事費	5,471

討 論

9月20日の本会議において、決算1件と予算議案1件について討論が行われました。

採決の結果、賛成多数で認定及び原案可決となりました。

▼認第1号平成24年度天童市一般会計決算

〈反対〉狩野佳和議員

芳賀地内の調整池を組合施工から外し、市独自で田畑3ヶ所を購入し新調整池を造る計画には反対。それも予備費から概略設計を委託後、議会には事後説明。議会軽視であり執行として問題あり。芳賀地内の調整池は組合施工で造るべきであり、概略設計委託料588万円は認定できない。芳賀に子育て支援施設の利用地約1ヶ所を約4億7141万円で購入したが、予算書と同額で高額だから認定できない。

〈反対〉石垣昭一議員

行財政改革は、委託事業を4事業に抑えたが、予算計上

に問題がある。

デマンド型乗合タクシーは、以前の市営バスからみて利用者が半分で同じ経費では市民のためになっていないか疑問。防災調整池は、用地費や工事費の負担が明快でなく、事業の進め方に異議がある。

新駅に係る調査に多額の費用が使われてきた。全体事業の費用負担について、市民に明細な内容を明示すべき。

▼議第14号平成25年度天童市一般会計補正予算(第2号)

〈反対〉赤塚幸一郎議員

提出された補正予算案の中で、子育て支援施設整備事業の債務負担の大幅な増額。

一つには、一般質問における答弁との食い違い。二つには、なぜこの事業だけ予定価格を引き上げる必要があるのか。三つには、入札執行前のこの時期に増額が必要なのか、実際に一般競争入札を実施して不調となった場合に見直しを行うのが妥当と考える。

以上三つの視点で納得できないので、賛成できない。

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

現固定資産評価審査委員会委員の矢野美佐子氏(交り江三丁目)が、平成25年12月14日をもって任期満了となる。これに伴い、再び同氏を選任することに同意しました。

教育委員会委員の任命に同意

教育委員会委員の東谷信昭氏が、平成25年9月30日をもって任期満了となる。これに伴い、同氏の後任として新たに阿部真由美氏(乱川)を任命することに同意しました。

9 月 定 例 会

審 議 日 程

平成25年度第4回市議会定例会(9月定例会)は、8月30日から9月30日までの32日間の会期で開かれました。

市長提出の報告1件、契約議案1件及び人事議案2件については初日の本会議で採決が行われました。そのほか、平成24年度決算議案12件、予算議案9件及び条例議案2件については、決算特別委員会、予算特別委員会及び所管常任委員会に付託され、9月20日の本会議で採決が行われました。

また、9月20日に委員会提出議案3件、9月30日に人事議案1件が提出され採決が行われました。

(採決結果は14ページに掲載してあります。)

月 日	内 容
8.30(金)	本会議 (会期の決定、提案理由の説明、決算・予算特別委員会の設置など)
9.3(火) 9.4(水)	本会議 (市政に対する一般質問)
9.5(木)	総務教育常任委員会 (付託案件の審査)
9.9(月) ~12(木)	決算特別委員会 (付託案件の審査、表決)
9.13(金)	予算特別委員会 (付託案件の審査)
9.17(火)	予算特別委員会 (討論、表決)
9.20(金)	本会議 (委員長報告、質疑、討論、表決など)
9.25(水)	本会議 (正副議長選挙)
9.30(月)	本会議 (各委員会の選任など)

提出された議案と結果

〈市長提出議案〉

議案番号	件名	結果
報第8号	交通事故に係る損害賠償の額の決定についての専決処分の報告について	報告
認第1号	平成24年度天童市一般会計決算	認定 (賛成多数)
認第2号	平成24年度天童市国民健康保険特別会計決算	認定 (全会一致)
認第3号	平成24年度天童市用地買収特別会計決算	認定 (全会一致)
認第4号	平成24年度天童市財産区特別会計決算	認定 (全会一致)
認第5号	平成24年度天童市鎌ノ町土地区画整理事業特別会計決算	認定 (全会一致)
認第6号	平成24年度天童市介護保険特別会計決算	認定 (全会一致)
認第7号	平成24年度天童市市民墓地特別会計決算	認定 (全会一致)
認第8号	平成24年度天童市後期高齢者医療特別会計決算	認定 (全会一致)
認第9号	平成24年度天童市工業団地整備事業特別会計決算	認定 (全会一致)
認第10号	平成24年度天童市水道事業会計決算	認定 (全会一致)
認第11号	平成24年度天童市民病院事業会計決算	認定 (全会一致)
認第12号	平成24年度天童市公共下水道事業会計決算	認定 (全会一致)
議第14号	平成25年度天童市一般会計補正予算(第2号)	原案可決 (賛成多数)
議第15号	平成25年度天童市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決 (全会一致)
議第16号	平成25年度天童市用地買収特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第17号	平成25年度天童市財産区特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第18号	平成25年度天童市鎌ノ町土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)

議案番号	件名	結果
議第19号	平成25年度天童市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第20号	平成25年度天童市市民墓地特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第21号	平成25年度天童市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第22号	平成25年度天童市工業団地整備事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第23号	天童市職員互助共済制度に関する条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第24号	天童市市税条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第25号	原崎橋橋梁架替工事請負契約の締結について	原案可決 (全会一致)
議第26号	天童市固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案可決 (全会一致)
議第27号	天童市教育委員会委員の任命について	原案可決 (全会一致)
議第28号	天童市監査委員の選任について	原案可決 (全会一致)

〈委員会提出議案〉

議案番号	件名	結果
委員会提出議案第2号	山形県村山広域水道の安定給水を求める意見書の提出について	原案可決 (全会一致)
委員会提出議案第3号	地方税財源の充実確保を求める意見書の提出について	原案可決 (全会一致)
委員会提出議案第4号	ホテル・旅館等建築物の耐震化の促進に関する意見書の提出について	原案可決 (全会一致)

〈その他〉

件名	結果
請願の撤回について (詳細は16ページに掲載しています。)	承認 (賛成多数)

議案等に対する議員の賛否一覧表 (賛否が分かれたもの。これ以外は全会一致。)

議案	議席番号																					
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
	武田正二	水戸芳美	遠藤敬知	茂木孝雄	村山俊雄	狩野佳和	松田光也	矢萩武昭	山口桂子	海鋒孝志	木村竹虎	赤塚幸一郎	結城義巳	後藤和信	山崎諭	石垣昭一	小松善雄	鈴木照一	伊藤護國	浅井健一	伊藤和子	水戸保
認第1号 平成24年度天童市一般会計決算	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	×	議
議第14号 平成25年度天童市一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
請願の撤回について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	議

※ ○=賛成、×=反対、議=議長(議長は採決に加わらない)

※ 会派(採決時): 清=清新会、政=政和会、市=市民クラブ、共=日本共産党天童市議団、無=会派に属さない議員

議会のうごき

■7月

- 17日 広報委員会
- 22日 議会基本条例策定委員会、市長要請全員協議会（大雨被害による断水の状況及び今後の見込みについて外）
- 23日 東根市外二市一町共立衛生処理組合定例会
- 29日 市長要請環境福祉常任委員会（市民病院改革プランの進捗状況について）、議会基本条例策定委員会
- 31日～8月2日 会派清新会先進地視察（出雲市、敦賀市）

■8月

- 6日 各派代表者会
- 7日 議会基本条例策定委員会
- 8日 県市議会議長会議員研修会（山形ビッグウイング）、天童夏まつり花笠パレード参加
- 12日 議会改革特別委員会（議員定数・議員報酬について）、経済建設常任委員会所管事務調査（豪雨、断水対応について）、市長要請経済建設常任委員会（山口地区住宅団地開発事業（第2期）について）
- 19日 政策討論会議（断水に係る要望について外）、市長要請環境福祉常任委員会（子育て支援施設整備事業について）
- 20日 東根市外二市一町共立衛生処理組合臨時会、議会基本条例策定委員会
- 21日 総務教育常任委員会所管事務調査（選挙投票所統廃合後の参議院議員選挙の総括について外）

- 23日 議会運営委員会、各派代表者会、会派清新会研修会参加（東京）
- 24日 国会議員との懇談会（議長、事務局長／山形グランドホテル）
- 26日 議会基本条例策定委員会
- 30日 広報委員会
- 30日～9月30日 第4回市議会定例会

■9月

- 4日 各派代表者会
- 5日 市長要請総務教育常任委員会（山形定住自立圏共生ビジョン連携事業実施状況について）
- 9日 各派会長会
- 17日 各派代表者会、議会改革特別委員会（特別委員会の中間報告について外）
- 18日 経済建設常任委員会所管事務調査（新駅設置の状況について外）
- 19日 議会運営委員会
- 20日 各派会長会、広報委員会
- 24日 正副議長選挙に係る所信表明会
- 25日 各派会長会
- 26日 各派代表者会
- 30日 広報委員会

■10月

- 2日 広報委員会
- 4日 市長要請全員協議会（新駅設置について）
- 8日 議会改革特別委員会（委員長の互選について外）
- 9日 各派代表者会

平成24年度組合会計決算

収入 (単位：千円)

区分	決算額	摘要
市町負担金	740,291	天童市：288,214 東根市：228,545 村山市：120,327 河北町：103,205
償還交付税	97,054	組合償返還のため、国から交付された額
使用料及び手数料	758,882	ごみ・し尿処理手数料、ごみ袋売上金など
国庫支出金	428	国から交付された額
財産収入	45,671	アルミ、ペットボトル等売却代金など
繰入金	68,101	基金からの繰入金
繰越金	86,964	前年度からの繰越金
諸収入	48,093	預金利子など
組合債	88,600	国からの借金
計	1,934,084	

支出 (単位：千円)

区分	決算額	摘要
議会費	1,109	組會議員報酬など
総務費	309,038	事務管理費など
事業費	1,305,969	ごみ・し尿処理費用など
公債費	250,805	組合債の返済
計	1,866,921	

○平成24年度決算（左表）

る措置を講じるもの。

月から来年3月まで減額す

る措置を講じるもの。

要請されたことに伴い、7

踏まえて、国に準じるよう

職員の給与の臨時特例に

する条例（専決処分）Ⅱ

家公務員の給与削減措置を

した物損事故の賠償。

の専決処分Ⅱ昨年6月、

化槽汚泥収集業務時に発

認定した。

開催され、議案3件を承認

7月23日に第2回定例会が

第2回定例会

東根市外二市一町共立衛生処理組合議会

第1回臨時会

件を可決した。

開催され、議長選挙と議案1

8月20日に第1回臨時会が

議長の選挙Ⅱ東根市選出の

議長の辞任に伴い、同じ東

根市の阿部綾子氏を議長に

選出した。

○補正予算（第1号）Ⅱ焼却

灰を運搬する4トトラック

を点検して車検を行おうと

したが、老朽化のため修理

組替えを行うもの。

歳入歳出の変更はなく、

を購入するもの。

費が高額となるため、新車

購入するもの。

したが、老朽化のため修理

費が高額となるため、新車

を購入するもの。

したが、老朽化のため修理

費が高額となるため、新車

を購入するもの。

したが、老朽化のため修理

費が高額となるため、新車

を購入するもの。

したが、老朽化のため修理

費が高額となるため、新車

を購入するもの。

したが、老朽化のため修理

費が高額となるため、新車

を購入するもの。

したが、老朽化のため修理

費が高額となるため、新車

を購入するもの。

市民の声

私が傍聴した時に、一番感じたことは、傍聴者が非常に少ないということだと思います。一部の公民館関係者が団体で視察研修しており、それを除くと、まばらな傍聴者でした。

さて、9月定例会の一般質問は、7月の豪雨災害による断水問題に集中した真剣な質問と答弁がありました。しかし、本場に市民の立場に立った質問と答弁がなされたのか疑問が残る。思うのは、私だけなのでしょう。形式的な議会運営であってはならないと思います。そうさせないためにも、議会を傍聴し、市政に関心を持ち、自らの地域の発展はもとより、市全体の発展を願い、自分たちのできること、例えば市の行事、地域の行事、公民館の

議会を傍聴し、市政に関心を

景澤良博(61歳・北久野本)

行事等に積極的に参画することが大切であると思います。市長や議員を選挙で選んだら終わりではないと思います。

市民の一人として、市長をはじめ市職員、市議会議員の皆様の日頃のご努力、ご活躍には、大変敬意を表するものであります。「任んでよかった天童市」と市民みんなが感じられるようにするため、また、将来の子どもたちのためにも、誇りと自覚を持って暮らしていきたいです。

最後に、天童は本当に良いまちだと思っておりますが、まだまだ発展できると思います。住みよいまちにするため、市長はじめ行政、議員、市民が一丸となって市政発展に取り組み、汗をかいていくことが必要だと思えます。今後、共にならば幸いです。

請願・陳情の結果

今定例会で受理した請願・陳情は1件で、所管常任委員会で審査が行われましたが、提出者から撤回の申し出があり、本会議で撤回が承認されました。

件名	提出者	付託委員会	結果
新聞の軽減税率に関する意見書提出を求める請願	山形新聞天童北部専売所 高橋 勝義 読売センター天童北部 斎藤太紀雄 ASA天童 鈴木 和嗣	総務教育	撤回 (賛成多数)

(議員の賛否は14ページに掲載してあります。)

12月定例会の日程(予定)

- 12月6日(金) 本会議 (初日)
- 10日(火) 本会議 (一般質問)
- 11日(水) 本会議 (一般質問)
- 12日(木) 常任委員会
- 13日(金) 常任委員会
- 16日(月) 予算特別委員会
- 17日(火) 予算特別委員会
- 20日(金) 本会議 (最終日)

※請願の締め切りは、11月28日(木)正午までの予定です。

※日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

会議録をご覧ください

市議会の会議録は、図書館と市立公民館に備えてあります。一般質問に対する市長や教育長等の答弁のほか、予算・決算特別委員会における質疑と答弁が全て記載されています。ぜひ、ご覧ください。また、天童市議会のホームページにも掲載しています。

編集後記

●2年に一度の構成替えで、広報委員会のメンバーも新たになりました。
●新戦力と熟練の英知を持って、市民の皆様により親しまれる「議会だより」に取り組んでまいりますので、宜しくお願い致します。
●「議会だより」をご覧になった皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております。

《広報委員会》

- 委員長 武田 正二
- 副委員長 水戸 芳美
- 委員 伊藤 和子
- 後藤 和信
- 山口 桂子
- 狩野 佳和

